

新着図書

新潮社から学習資料館へ寄贈されました図書を紹介します。

- ◆ いつか陽のあたる場所で(乃南アサ)
- ◆ 1950年のバックス(北村薫)
- ◆ 愛の挨拶(本岡類)
- ◆ やってられない月曜日(柴田よしき)
- ◆ 湿地帯(宮尾登美子)
- ◆ チューホフ・ユモレスカⅡ(アントン・パーヴロヴィッチ・チューホフ)
- ◆ 地球システムの崩壊(松井孝典)
- ◆ 野の鳥は野に 評伝・中西悟堂(小林照幸)
- ◆ あなたの呼吸が止まるまで(島本理生)
- ◆ 漁師志願!(山下篤)
- ◆ サクリファイス(近藤史恵)
- ◆ 愛その他の悪霊について(ガブリエル・ガルシア=マルケス)
- ◆ 海に帰る日(ジョン・バンヴィル)
- ◆ 果ての花火(松井今朝子)
- ◆ 風紋(大庭みな子)
- ◆ 中国「女書」探訪(細見三英子)
- ◆ 黒の紋様(塚本宇兵)
- ◆ ぼくのニート道(石原まこちん)
- ◆ 黒澤明 封印された十年(西村雄一郎)
- ◆ 顔のない男(熊谷徹)
- ◆ 芸術脳(茂木健一郎)
- ◆ メキシコの青い空(山本浩)
- ◆ 官邸崩壊(上杉隆)
- ◆ 本格保守宣言(佐藤健志)
- ◆ 日本カジノ戦略(中條辰哉)
- ◆ いつまでもデブと思うなよ(岡田斗司夫)
- ◆ 男はつらいらしい(奥田祥子)
- ◆ CD 言葉が怖い(向田邦子)
- ◆ CD 硝子戸の中(夏目漱石)
- ◆ きもの万華鏡 一星野桜子 魅せます、お詠え(星野桜子)
- ◆ こんな話を聞いた(阿刀田高)
- ◆ 石田節子のきものでおでかけ(石田節子)
- ◆ 日本の霊性―越後・佐渡を歩く―(梅原猛)
- ◆ 不知火海(内田康夫)
- ◆ 機体消失(内田幹樹)
- ◆ いのちの授業(神奈川県新聞報道部)
- ◆ 身体から革命を起こす(甲野善紀・田中聡)
- ◆ 箸の上げ下ろし(酒井順子)
- ◆ ローマ人の物語 29・30・31(塩野七生)
- ◆ ラストドリーム(志水辰夫)
- ◆ ミトコンドリアのちから(瀬名秀明・太田成男)
- ◆ 駆け込み交番(乃南アサ)
- ◆ しあわせになる禅(ひろさちや)
- ◆ 雨恋(松尾由美)
- ◆ 文学と私・戦後と私(江藤淳)
- ◆ 忘却の河(福永武彦)
- ◆ 女の器量はことばしだい(広瀬久美子)
- ◆ 宿命(高沢皓司)
- ◆ ピギー・スニードを救う話(ジョン・アーヴィング)
- ◆ 被曝海域〈上・下〉(トム・克蘭シー&ステーブ・ピチェニック)
- ◆ 生きるための自殺学(ケイ・ジャミソン)
- ◆ エンジェル・ハート 23(北条司)
- ◆ ブレイブ・ストーリー ～新説～17 (宮部みゆき)
- ◆ アタック!! 3(大島司)
- ◆ グ・ラ・メ! 3(西村ミツル)
- ◆ 紅嵐 02(柊野陽)

学習資料館だより

角館図書館後援会より第47回文化講演会のお知らせです。講師に作家・立松和平氏をお迎えし、「南極で考えたこと」と題して開催します。

10月18日(木)午後6時半から、会場は角館樺細工伝承館です。詳しくは9月15日号お知らせナビをご覧ください。

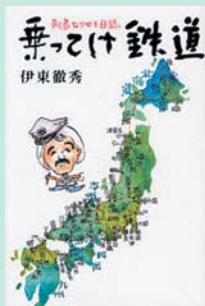
田沢湖図書館だより

今月のおすすめ

「乗ってけ鉄道」

50歳になったのをきっかけに、少年のような旅をしたい。そんな著者が、内陸鉄道をはじめ全国を回りました。読書を旅の空に誘う1冊です。

(伊東徹秀著 柏艚舎)



「だいすきひゃっかい」

夜になっても眠くない女の子が、母親になぞなどを出します。親子の会話がおもしろい、スキンシップ絵本です。

(村上いこ著 岩崎書店)

新着図書紹介

- アサツチの人(諏訪哲史)
- 路線にバスを走らせろ(畑川剛毅)
- 楽園(宮部みゆき)
- 快眠レシピ(内田直)
- 幻香(内田康夫)
- ラフボディ・メロッド(中島史恵)
- 教育と格差社会(佐々木賢)
- 遊戯(藤原伊織)
- クルマのつくりがた(いのうえこーいち)
- 木漏れ日に泳ぐ魚(恩田陸)

お知らせ

蔵書点検のため、10月12日から22日まで休館いたします。本の返却は玄関のポストからお願いします。

10月の休館日

- 1日(月) 8日(月)
- 12日～22日(蔵書点検) 29日(月)